

# 平成19年 3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)



平成19年 1月31日

上場会社名 **大建工業株式会社**

(コード番号:7905 東証・大証第一部)

(URL <http://www.daiken.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名

代表取締役社長

井邊 博行

責任者役職・氏名

専務取締役経営企画部長

藤井 克巳

TEL : (06) 6452 - 6345

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(内容) 従来、当社グループは、借上社宅の従業員負担部分を「賃貸料」として営業外収益に計上しておりましたが、これは実質的に「賃借料」を負担しているものであることから売上原価、販売費及び一般管理費の「賃借料」を控除する方法に変更しました。この変更により、従来の方法による場合と比べ、売上原価が12百万円、販売費及び一般管理費が199百万円減少し、営業利益が211百万円増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容) 連結 (除外)2社 (株)トナミ加工、梅田建材(株)

## 2. 平成19年 3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年 4月 1日 ~ 平成18年12月31日)

### (1)経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期第3四半期	124,053	0.1	3,797	12.8	3,523	4.6	1,949	0.2
18年 3月期第3四半期	124,162	7.1	3,366	6.0	3,694	4.8	1,953	7.4
(参考)18年 3月期	166,273		4,394		4,903		2,386	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年 3月期第3四半期	14.90	-
18年 3月期第3四半期	14.93	-
(参考)18年 3月期	18.24	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

### [経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期のわが国経済は、緩やかな経済回復が確実性を増し、個人消費や民間の設備投資にも明るい兆しが見えてまいりましたが、原油価格の高騰による石化製品価格の上昇、インドや中国などの需要増による資材価格の上昇など予断を許さない経済環境下にありました。特に、住宅産業界にあっては、南洋材合板を筆頭に木質材料全般の価格高騰が続き、コスト高に伴う値上げと販売価格競争とが重なり、厳しい市場環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは、床材をはじめとした木質建材の価格改定の浸透を図ると共に、リサイクル資源や未利用資源を有効活用した基礎資材である「インシュレーションボード」、「MDF」、「ダイライト」の拡販を図りました。また、植林木を活用したフロア台板の製品展開を拡大した新製品「ジュエリアート」や、未利用資源を活用したダイライト二次化粧板「プレミアート」の新製品追加を行い、将来の資源問題を先取りした新製品投入を積極展開いたしました。さらに、アライアンス先の東陶機器株式会社及びYKK AP株式会社と共同でリモデルスタイルフェアを名古屋、大阪で開催し、拡大するリモデル需要のさらなる深耕を行いました。

以上により、当第3四半期の売上高は1,240億53百万円(前年同期比99.9%)、営業利益は37億97百万円(前年同期比112.8%)、経常利益は35億23百万円(前年同期比95.4%)、純利益は19億49百万円(前年同期比99.8%)となりました。これらはいずれも中間期に発表しました計画の範囲内で推移しております。

## (2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	151,166	47,506	29.9	345.20
18年3月期第3四半期	144,597	43,380	30.0	331.64
(参考)18年3月期	140,197	44,244	31.6	338.25

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	5,730	3,633	1,701	15,230
18年3月期第3四半期	10,165	35	3,909	14,960
(参考)18年3月期	10,487	188	4,126	14,830

## [財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における総資産は、1,511億66百万円となり、前連結会計年度末に比べて109億69百万円の増加となりました。その主な要因は、流動資産において受取手形及び売掛金、未成工事支出金等が増加し、流動負債において支払手形及び買掛金、未払金等が増加したためであります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は152億30百万円となり、前連結会計年度末と比べて4億円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は57億30百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益33億99百万円、仕入債務の増加額102億99百万円等であり、主なマイナス要因は、売上債権の増加額36億26百万円、棚卸資産の増加額51億88百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は36億33百万円の支出となりました。主なプラス要因は、投資有価証券の売却による収入4億4百万円等であり、主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出29億14百万円、投資有価証券の取得による支出14億1百万円等であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は17億1百万円の支出となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出28億86百万円等によるものです。

## ○ 添付資料

四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書など

以 上

[参考] 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

第3四半期の業績は予定通り推移しており、平成18年11月17日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、為替変動等の潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が記載の見通しとは異なる可能性があります。

## [業績予想に関する定性的情報等]

新設住宅着工戸数は、128万戸レベルで推移し、持家は若干回復すると予想されます。一方、南洋材合板等の高騰によるコストアップと価格競争は益々激しさを増すことが予想されます。特に、マンション向け製品や大手ビルダー向け製品は、価格改定の浸透よりもフロア台板のコストアップが先行するため、後半3ヵ月にコストアップが売価アップを上回ることが予想されます。

当社グループは、高騰する合板に替わる基礎資材「インシュレーションボード」、「MDF」、「ダイライト」の顧客拡大と用途開発を強化し、さらなる拡販を図ってまいります。また、床暖房をはじめとする高付加価値製品を、新築はもとよりモデル市場に対してきめ細かく提案し、販売チャネルの拡大と提案力強化を図ってまいります。

なお、平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の連結業績は当初(平成19年3月期中間決算発表時)の計画に対し、当第3四半期連結業績も予想した範囲内であり、当初計画を達成できるものと見込んでおります。個別業績予想についても同様であります。

# 1. 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	15,278	15,000	278	1.9	14,870
受取手形及び売掛金	29,820	27,512	2,308	8.4	26,176
棚卸資産	26,853	24,892	1,961	7.9	24,744
未成工事支出金	6,101	5,245	856	16.3	3,120
繰延税金資産	831	815	16	2.0	967
その他	3,558	3,566	8	0.2	2,006
貸倒引当金	130	178	48	27.0	175
流動資産合計	82,311	76,852	5,459	7.1	71,708
固定資産					
1 有形固定資産					
建物及び構築物	12,681	12,963	282	2.2	12,964
機械装置及び運搬具	12,141	11,352	789	7.0	11,639
土地	13,996	14,176	180	1.3	13,996
建設仮勘定	1,127	405	722	178.3	681
その他	983	806	177	22.0	973
有形固定資産合計	40,928	39,702	1,226	3.1	40,253
2 無形固定資産					
のれん	1,477	-	1,477	-	-
ソフトウェア	336	408	72	17.6	416
連結調整勘定	-	1,559	1,559	100.0	1,538
その他	159	155	4	2.6	161
無形固定資産合計	1,972	2,122	150	7.1	2,115
3 投資その他の資産					
投資有価証券	17,549	16,266	1,283	7.9	16,887
長期貸付金	288	288	-	-	288
前払年金費用	4,312	4,458	146	3.3	4,329
繰延税金資産	1,288	2,226	938	42.1	1,949
その他	3,541	3,943	402	10.2	3,915
貸倒引当金	1,023	1,260	237	18.8	1,247
投資その他の資産合計	25,955	25,921	34	0.1	26,121
固定資産合計	68,855	67,745	1,110	1.6	68,489
資産合計	151,166	144,597	6,569	4.5	140,197

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	27,216	24,909	2,307	9.3	21,427
短期借入金	10,686	10,565	121	1.1	10,045
一年以内に返済予定の 長期借入金	4,162	4,977	815	16.4	5,277
未払金	34,372	31,541	2,831	9.0	29,502
未払法人税等	265	1,024	759	74.1	1,973
未払消費税等	258	241	17	7.1	262
繰延税金負債	-	86	86	100.0	-
賞与引当金	1,063	1,018	45	4.4	1,756
事業構造改革損失引当金	88	-	88	-	200
繰延ヘッジ利益	-	31	31	100.0	29
その他	6,317	5,541	776	14.0	3,485
流動負債合計	84,427	79,933	4,494	5.6	73,956
固定負債					
社債	5,000	5,000	-	-	5,000
長期借入金	7,892	7,804	88	1.1	8,030
繰延税金負債	1,259	1,881	622	33.1	1,330
製品保証引当金	184	-	184	-	228
退職給付引当金	3,592	3,526	66	1.9	3,579
役員退職慰労引当金	365	-	365	-	668
負ののれん	118	-	118	-	-
連結調整勘定	-	117	117	100.0	116
その他	823	902	79	8.8	902
固定負債合計	19,233	19,230	3	0.0	19,853
負債合計	103,660	99,163	4,497	4.5	93,809
(少数株主持分)					
少数株主持分	-	2,054	-	-	2,144
(資本の部)					
資本金	-	13,150	-	-	13,150
資本剰余金	-	11,851	-	-	11,851
利益剰余金	-	14,544	-	-	14,977
その他有価証券評価差額金	-	4,115	-	-	4,459
為替換算調整勘定	-	257	-	-	169
自己株式	-	23	-	-	24
資本合計	-	43,380	-	-	44,244
負債、少数株主持分 及び資本合計	-	144,597	-	-	140,197

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
(純資産の部)					
株主資本					
1 資本金	13,150	-	-	-	-
2 資本剰余金	11,851	-	-	-	-
3 利益剰余金	15,945	-	-	-	-
4 自己株式	25	-	-	-	-
株主資本合計	40,921	-	-	-	-
評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	4,325	-	-	-	-
2 繰延ヘッジ損益	17	-	-	-	-
3 為替換算調整勘定	111	-	-	-	-
評価・換算差額等合計	4,231	-	-	-	-
少数株主持分	2,354	-	-	-	-
純資産合計	47,506	-	-	-	-
負債純資産合計	151,166	-	-	-	-

## 2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増 減 率	金 額
売上高	124,053	124,162	109	0.1	166,273
売上原価	93,419	93,209	210	0.2	125,805
売上総利益	30,634	30,953	319	1.0	40,468
販売費及び一般管理費	26,837	27,587	750	2.7	36,074
営業利益	3,797	3,366	431	12.8	4,394
営業外収益	( 594 )	( 993 )	( 399 )	40.2	( 1,395 )
受取利息及び配当金	193	212	19	9.0	221
雑収入他	401	781	380	48.7	1,174
営業外費用	( 868 )	( 665 )	( 203 )	30.5	( 886 )
支払利息	342	342	-	-	466
雑損失他	526	323	203	62.8	420
経常利益	3,523	3,694	171	4.6	4,903
特別利益	( 148 )	( 520 )	( 372 )		( 1,398 )
貸倒引当金戻入額	130	11	119		23
投資有価証券売却益	1	428	427		1,290
土地売却益	-	29	29		29
固定資産売却益	3	1	2		4
その他	14	51	37		52
特別損失	( 272 )	( 589 )	( 317 )		( 2,028 )
棚卸損失	-	142	142		366
棚卸資産評価損	15	232	217		331
固定資産除却損	94	113	19		179
投資有価証券評価損	148	-	148		-
その他	15	102	87		1,152
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,399	3,625	226	6.2	4,273
法人税、住民税及び事業税	438	1,666	1,228	73.7	2,613
法人税等調整額	782	173	955	552.0	942
少数株主利益	230	179	51	28.5	216
四半期(当期)純利益	1,949	1,953	4	0.2	2,386

### 3. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	3,399	3,625	4,273
減価償却費	2,403	2,265	3,100
賞与引当金の増減額	694	1,116	374
退職給付引当金の増減額	30	202	16
受取利息及び受取配当金	193	212	221
支払利息	342	342	466
売上債権の増減額	3,626	1,830	3,017
棚卸資産の増減額	5,188	2,094	216
仕入債務の増減額	10,299	5,476	782
その他	1,224	2,108	1,106
小 計	7,996	12,022	12,349
利息及び配当金の受取額	193	212	221
利息の支払額	342	342	469
法人税等の支払額	2,117	1,727	1,614
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,730	10,165	10,487
投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の取得による支出	1,401	304	1,044
投資有価証券の売却による収入	404	1,111	2,721
有形固定資産の取得による支出	2,914	1,247	2,120
有形固定資産の売却による収入	17	92	75
その他	261	383	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,633	35	188
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金増減額	186	126	79
長期借入による収入	2,400	200	5,082
長期借入金の返済による支出	2,886	3,209	8,100
自己株式取得による支出	1	3	4
配当金の支払額	981	981	981
少数株主配当金の支払額	47	42	44
その他	0	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,701	3,909	4,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	39	55
現金及び現金同等物の増減額	400	6,330	6,228
現金及び現金同等物の期首残高	14,830	8,649	8,649
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	19	47
現金及び現金同等物の期末残高	15,230	14,960	14,830